

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社オーダム 八幡市工場新築計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q1 建築物の環境品質						2.7	
Q1-1 音環境			0.30			2.18			
1 音環境		3.6	0.15		-	3.6			
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-				
1.2 遮音		4.2	0.40		-				
1 開口部遮音性能	遮音T-2を採用している	5.0	0.60		-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-				
1.3 吸音	床:タイルカーペット、天井:ジプトーン	4.0	0.20		-				
2 温熱環境		2.6	0.35		-	2.6			
2.1 室温制御		3.0	0.50		-				
1 室温		3.0	0.38		-				
2 外皮性能		3.0	0.25		-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-				
2.3 空調方式		3.0	0.30		-				
3 光・視環境		2.0	0.25		-	2.0			
3.1 屋光利用		1.8	0.30		-				
1 屋光率		1.0	0.60		-				
2 方位別開口			-		-				
3 屋光利用設備		3.0	0.40		-				
3.2 グレア対策		1.0	0.30		-				
1 屋光制御		1.0	1.00		-				
3.3 照度		3.0	0.15		-				
3.4 照明制御		3.0	0.25		-				
4 空気質環境		3.5	0.25		-	3.5			
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している	4.0	1.00		-				
4.2 換気		2.3	0.30		-				
1 換気量		3.0	0.33		-				
2 自然換気性能		3.0	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33		-				
4.3 運用管理		4.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-				
2 喫煙の制御	全館禁煙を採用	5.0	0.50		-				
Q2 サステナビリティ			0.30			3.2			
1 機能性		3.4	0.40		-	3.4			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性		1.0	0.33		-				
2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 56VA/m ²	5.0	0.33		-				
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-				
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30		-				
1 広さ感・景観	天井高2.7m	4.0	0.33		-				
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース7.3%+自動販売機等の設置	5.0	0.33		-				
3 内装計画		1.0	0.33		-				
1.3 維持管理		4.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	内装材(壁・床)は防汚性の高い材料を使用している	4.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保	清掃の作業性や資材のメンテナンスに配慮している	4.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-	3.0			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	事務室 壁ビニルクロスを採用している	4.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途3種の2種以上に、B以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.8	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-				

3	対応性・更新性		3.3	0.30		-	3.3
	3.1 空間のゆとり		4.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり	階高 5.6m	4.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.14	4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
G3 室外環境(敷地内)			2.0	0.40		-	2.4
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 建築エネルギー			4.8	0.40		-	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPlm 0.82	4.8	0.20		-	4.8
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.7	0.50		-	2.7
4	効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価						
	4.1 モニタリング						
	4.2 運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			3.0	0.30		-	3.5
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60		-	3.7
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:長尺ビニールシート 断熱材:押出法ポリスチレンフォーム 再	5.0	0.22		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地、OAフロアを採用している	5.0	0.22		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20		-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤 東リ	4.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	押出法ポリスチレンフォーム断熱材を採用している	4.0	0.50		-	
	3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			3.2	0.30		-	3.2
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2 93%	3.2	0.33		-	3.2
2	地域環境への配慮		3.5	0.33		-	3.5
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制	敷地内で交差車両の交差が可能	5.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.50		-	
	2 振動		3.0	0.50		-	
	3 悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		-	-		-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

株式会社オーダム 八幡市工場新築計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0		○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	7.0		-	○	○	-	-	○	○	○	-	○	○	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	-	1.0	-	-	-	-	1.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 昼間照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC 0.5 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 0.4 外壁 2.6 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAG - ηAH - 星光率 0.0% 自然換気有効開口面積率 0.0%
3.1.1 星光率	執務スペース .0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡
4.2.2 自然換気性能	コンセント容量 56.0 VA/㎡ 天井高 0 m
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%
1.1.2 高度情報通信設備対応	想定耐用年数 30 年
1.2.1 広さ感・景観	想定必要間隔 20 年
1.2.2 リフレッシュスペース	想定必要間隔 20 年
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定必要間隔 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	階高 5.6 m
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	壁長さ比率 14.0%
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	床荷重 - N/m2
3.1.1 階高のゆとり	
3.1.2 空間の形状・自由さ	
3.2 荷重のゆとり	
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 13% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 65% 水平投影面積率 1% 地表面対策面積率 0% 舗装面積率 0%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _{lm} 0.82 断熱等性能等級 0 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _{lm} 非住宅 0.86 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 長尺ビニールシーエコマーク商品 押出法ポリステレ窒素材料等特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 65% 隣棟間隔指標R _w - 地表面対策面積率 0.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積S _b 162㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 22.98 m 基準高さH _b 11.9 m 緑地 252㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡